野球を始めたのは小学1年生の時。野球部だった兄についていったのがきっかけでした。高校野球を引退した夏、テレビで見た「都市対抗野球※1」の決勝のレベルの高さに、「アマチュア最高峰の舞台で勝負したい」と思いました。目指すべきは社会人野球で、仕事をして給料をいただきながら野球ができる環境がベストだと考え、縁あって沖縄電力に入社。今年で17年目を迎えます。

午前中はデスクワーク、午後は野球に打ち込む毎日です。シーズンの流れは毎年ほぼ同じで、遠征の予定も事前に共有されるので、仕事は逆算して進めます。周囲が野球をしやすい環境をつくってくれているからこそ、報・連・相と、野球部全体で感謝を言葉にすることを大切にしています。

17年続けて一番の財産は、人との出会いです。さまざまな方に刺激をもらい、県外にも多くの知人ができました。若い頃は両立が大変でしたが、それ以上に得るものが大きかったと実感しています。足が速いわけでも、抜きん出た武器があるわけでもない私が続けられたのは、監督やコーチに今何を求められているのかを、都度自分で考えてきたから。それは職場でも同じで、今すべきことを臨機応変に判断できるところが、私の強みだと思っています。

自分で考えて動いてきたから、今がある。だからこそ子どもたちには、まず動いてほしいんです。きっかけは必ずどこかに転がっていて、私が兄についていって野球に出会ったように、動けば動くほど見つかります。知らないことが、一番もったいないですから。

※1／各都市の代表として地域の誇りを胸に日本一を争う社会人野球で最も大きな大会。いわば社会人野球の甲子園。

都市対抗野球10年連続出場選手として東京ドームで表彰される田場選手

自分で考え、動き続けた17年のニア流

田場（たば） 亮平（りょうへい）選手

沖縄電力硬式野球部の田場亮平選手は、都市対抗野球に10年連続で出場。仕事と野球を両立して17年、その歩みと子どもたちへの思いを聞きました。

私の宝物

都市対抗野球に10年連続出場という節目で打ったホームランのボール

これが好き！

野球 × 会社員